

ワケ カタチには理由がある(49)

Shape follows Function
& Taste

~He280 ジェット試作戦闘機



[Me262 試作機型と(当初 Me262 は尾輪式だった)↓]



[同じくハインケル社の He162 と→]



本機 He280 は、ハインケル社が 1941 年 3 月に初飛行したドイツ空軍の試作戦闘機です。ハインケル社は 1938 年に He178 試作ジェット機の飛行に成功し、この機体でジェット機の実用化に大きく踏み出しました。なにせ英国空軍初のジェット機であるグロスター・E.28/39 パイオニアの初飛行は、He280 の初飛行より遅い 1941 年 5 月ですから、ドイツ空軍は大きな時間的アドバンテージを持っていました。しかし、ハインケル社が自ら開発したフォン・オハインによる遠心式のハインケル・ヒルト HeS8 エンジン、軸流式のユモ 004 に劣り(前者の推力は 600kg に対し、後者のそれは 900kg 以上)、ドイツ空軍は Jumo004 を搭載した Me262 の完成を待つことにしたため、ジェット戦闘機の実戦配備まで 1 年ほどの時間的ロスを生じさせてしまいます。機体性能としては良好だったようで(Fw190 A との模擬戦で優位だった)、Me262 の登場までのツナギとして実戦配備すれば、戦局も違ったものになったかもしれません。なお、この機体は前輪式配置や、また射出座席を装備したことで先進的で、後者の技術は戦争末期にハインケル社が開発した、操縦席後部上方にインテイクが開口する He162 ジェット戦闘機には必須の装置だったわけで、その技術が活かされました。

【模型について】

チェコの RS モデル製 1/72 です。キャノピーが厚いのが難点ですが、射出座席のモールドは良好です。
(中川裕幸 2021 年 11 月、改定 2024 年 4 月)